

どがなかな 大田市です！！

大田市ふるさと情報誌

VOL.53
2024.3

**#大田市日本遺産フォト・リールコンテスト2023
受賞作品決定!!!!**



【フォト部門最優秀賞】

「姫君をお連れしたでござんす」

◆構成文化財◆大森銀山地区



【フォト部門優秀賞】 「悠久の佇まい」

◆構成文化財◆定めのみ



【フォト部門優秀賞】 「黄金」

◆構成文化財◆三瓶山

#大田市日本遺産フォト・リールコンテスト2023

「石見の火山が伝える悠久の歴史～“縄文の森”“銀の山”と出逢える旅へ～」をテーマとしたフォト・リールコンテストを令和5年9月1日～10月31日の2ヶ月間開催しました。三瓶山や大森の町並みなど、22の構成文化財を対象とした作品をWEBフォームやSNS上で募集しました。フォト部門に682件、リール部門に109件の応募があり、18作品が受賞しました。受賞作品は、12月9日に開催した日本遺産シンポジウムin大田の会場で展示された他、大田市日本遺産のサイトやSNSで発信され、また大田市内の観光施設等で展示されています。

受賞作品はこちら★

<https://www.iwami-kazan.jp/photocon/>



令和6年3月20日(水)・3月21日(木)開催!!

場所 大田町商店街全域(約1.2km)
大田市民会館(植木・苗木市)



◀大田市駅通りの様子



◀植木・苗木市の様子

詳細は
こちらから!



大田商工会議所
ホームページ

400年以上の歴史を持つ大田の伝統行事
暑さ、寒さも彼岸までと言われますが、季節の変わり目の彼岸にお寺の境内で物々交換をしたのが「市」の始まりで、400年以上の歴史を持つ大田市の伝統行事です。春と秋の彼岸の中日に催されることから、地元では「中日つあん」とも呼ばれています。露店商人の間では昔からこの「市」を「高市」と言い、出雲大社、松江の武内神社の例祭と共に年間予定に入っています。

かつて春の彼岸市は、播種期を迎え、野菜、園芸の種ものや、農具、苗木、植木、盆栽、日用品などが、ところ狭しと並べられました。「市」の形態、場所、取引される品物も時代の変遷とともに変化しています。

今では、大田市駅から約1.2キロ区間に露店が並び、遠くは関西、九州から200店余りが集まり、3万人前後の人出で賑わいます。また、大田市民会館広場では、この「中日つあん」を彩る植木・苗木市を開催しています。

おおだ春の彼岸市 『中日つあん』

シリーズ石見銀山⑤ ポーランドの世界遺産との交流

「石見銀山」世界遺産登録20周年・発見500年に向けて、海外の鉱山遺跡との調査研究・保全管理に関する連携強化を図るため、石見銀山の関係者5名からなる訪問団を結成して令和5年9月8日、10日にかけてポーランドの世界遺産「タルノフスキエ・グレイの鉛・銀・亜鉛鉱山とその地下水利用システム(以下、タルノフスキエ・グレイ)」の構成資産と、その管理団体であるSMZT(タルノフスキエ・グレイ郷土愛好協会)を訪問しました。現地では関係者と直接会談するとともに、構成資産を見学しました。また、SMZT設立70周年記念イベントでは、石見銀山に関する様々な取り組み等を発表しました。

タルノフスキエ・グレイはポーランドの南部にあります。15世紀の終わりに鉱山が見つかり、1526年に鉱山都市として認可を受けてから1913年まで稼働していました。16世紀には大量の銀・鉛を産出してグローバルゼーションに大きく貢献し、19世紀には世界に先駆けて蒸気機関が排水機構に導入され、大規模に採掘されました。また、その排水機構により、世界で初めて地下水が飲料・産業用に利用されました。

閉山後は地域の人々によって観光開

発が進められ、現在ではSMZTがその活動を引き継いでいます。閉山して100年以上たっても、町のルーツである鉱山を誇りに持つ人々は多く、タルノフスキエ・グレイ市では毎年9月に鉱山で働いていた人々を称える「グヴァルキ祭り」が盛大に開催されています。タルノフスキエ・グレイと石見銀山とは歴史的に直接の関わりはありませんが、稼働時期が近いこと(石見銀山は、1527〜1923年)を始め、ともに16世紀代の世界経済に大きく貢献したこと、閉山後に地域の人々によって遺産が守られたことなど、偶然にも多くのことが共通しています。銀鉱山の世界遺産を持つ者同士、これからの交流により相互理解を深めることが期待されます。



▲タルノフスキエ・グレイの公開施設の1つである黒鱒(くろます)坑道。元々は19世紀の水抜坑道で、火薬などを用いた掘削の跡や、落盤防止のための設備などが残っています。約600mの公開範囲を、手押しボートで40分かけて見学します。

大田市は、ユネスコの「平和と人権尊重」の精神に基づき、世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」の保全と活用をすすめています。

●お問い合わせ先

大田市教育委員会石見銀山課
電話 0854(83)8132

移住者

インタビュー



にしだ ゆうか
西田優花さん

神奈川県からIターン。
令和5年に地域おこし協力隊として
大田市に移住されました。温泉津町に
喫茶店「本と喫茶のゲンショウシャ」
をオープンし、スパイスカレーと地域
資源を使用した野草茶、スパイス料理
に合わせたワインやコーヒーなどを
提供しています。

■移住しようと思ったきっかけは？

2018年に島根を訪れ、その時から温泉が好きで温泉津温泉にはよく来ました。移住しようと思ったきっかけは、人や町の気風です。温泉津町では自分でも何かをスタートする人が多いという印象を持っていました。私も実際に動き始めると、多くの人がアドバイスや意見をくれたりして、やりやすいと感じました。

■休日の過ごし方は？

夏だと櫛島キャンプ場でシュノーケリングをすることが多いです。冬場は友人のところまで薪ストーブの薪を調達したりしています。石見神楽温泉津舞子連中に入っているので、神楽の稽古もしています。

■移住して苦労したこと

しきたりというか、物事の順番を理解するのに少し時間が必要でした。

挨拶や、伝え方の順番を地域



▲「本と喫茶のゲンショウシャ」

の方に教えてもらいました。苦労しましたが、そのおかげで今はすごく助かっています。

■将来に向けてやってみたいこと

貸本屋をやってみたいです。ゲストハウスや温泉津港、ゲンショウシャなど色々なところで本を読んでもらうことで、温泉津での滞在時間を伸ばしてもらえかけにもなると思っています。

また、地域にもともとある資源を活用するようなことができないか、という思いがあり、野草茶の開発に取り組んでいます。

■移住を考えている人へ

行く側と受け入れる側には必ずギャップがあります。数回のコミュニケーションでそのギャップは解消できるものではありません。

地域でのこれまでの歴史や努力など、色々な積み重ねがあったところに急に行かせてもらうことになるので、相手のことを尊重してお邪魔させてもらうという気持ちで行くのが良いかなと思います。



大田市では、定住希望者の住宅ニーズに対応した住まい環境を提供するため、空き家の活用に取り組んでいます。空き家を活用することにより大切な資産を守り、定住人口の増加に繋げようと、寄せられた空き家情報をもとに調査を行い、大田市空き家バンク「どがどが」でご紹介しています。

大田市へのUターンをお考えの方で空き家の活用を希望される方は、大田市まちづくり定住課(0854-83-8172)へお問合せください。

約30件の物件を紹介しています。
大田市空き家バンク「どがどが」はこちらから!



島根県大田市 空き家バンク

どがどが

oda vacant house banks



温泉津町 (物件番号: 160042)

賃売区分: 売買
金額: 220万円
構造: 木造 瓦葺き 一部2階建
住宅面積: 188.85㎡ (56坪)
敷地面積: 419.74㎡ (126坪)
特記: JR湯里駅より車で10分程の小高い場所に位置し、見晴らしがよく広々とした日当たり良好な物件です。



長久町 (物件番号: 130039)

賃売区分: 売買
金額: 380万円
構造: 木造 瓦葺き 平屋建
住宅面積: 221.91㎡ (66坪)
敷地面積: 566.52㎡ (171坪)
特記: ホームセンター、スーパー等が近くにあり、日常生活に便利な場所にある木造平屋建ての建物です。

※令和6年3月時点の情報です

ふるさと納税 がんばる「ふるさと大田」を応援しちゃんさい!!

島根県大田市

ふるさと納税は、生まれ故郷や応援したい自治体に寄附ができる制度です。みなさまからの寄附金は、様々な事業に活用させていただいています。寄附額に応じて、大田市の特産品をお礼の品としてお贈りします。

あなご一夜干し
「天女の羽衣」

三瓶米粉 焼きドーナツ
「天使のまる」

熟成「銀山赤どり」の精肉

「薔薇のお茶」と
「ローズシロップ」セット

おおだの名産！
「す巻き蒲鉾」

調理簡単！和風仕立て
「のどぐろのアクアパッツァ」

ふるさと納税のお申し込み方法は、大田市ホームページをご覧ください。
インターネットでのお申し込みも可能です。

【お問い合わせ先】大田市政策企画部政策企画課 (☎0854-83-8029)

<https://www.city.oda.lg.jp/> FAX 0854-82-6667



この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行／大田市役所政策企画部まちづくり定住課 ☎:0854-83-8172 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail: o-tiiki@city.oda.lg.jp

大田市公式LINEを
ご登録ください

